

温浴施設洗浄での使用例



1. 浴槽の水をポンプがエアを噛まない程度まで水位を下げます。※ ヘアキャッチャーは予め清掃しておきます。



2. 35%過酸化水素を保有水量に対して5%(50kg/m³)程度投入します。



3. 循環ポンプで1~2時間循環します。



4. アスクスーパーを保有水量に対して0.12%(1.2kg/m³)程度投入します。



5. 15分後の様子。発泡がある程度おさまったら、ポンプがキャビテーションによって停止しないように循環します。

例 過酸化水素による洗浄とアスクスーパーによる処理

循環式浴槽や温泉でレジオネラ菌が問題になります。レジオネラ菌は配管内のバイオフィルムで増殖しますが、塩素系殺菌剤で殺菌してもバイオフィルムを除去出来ないため、現在は除去薬剤として過酸化水素が使用されています。従来の塩素消毒では、レジオネラ菌を死滅させるだけの塩素濃度管理を人為的に行う必要があり非常に困難でした。

過酸化水素で浴槽・配管を洗浄した後、アスクスーパーで中和することでそのまま排水できます。